

第3回「手形・小切手機能の「全面的な電子化」に関する検討会」資料

信用金庫における手形・小切手の 電子化推進について

2021年6月29日(火)
一般社団法人全国信用金庫協会

1. 信用金庫について

(1) 信用金庫の制度・業務

- 信用金庫は、限られた地域を営業基盤とする地域性と、中小企業や国民大衆を取引対象とした中小企業専門性と、協同組織性の3つの特徴をあわせ持っています。
- 業務としては、「預金業務」「融資業務」「為替業務」の3大業務、これらに関連する「付随業務」があります。銀行と大きな違いはありません。

根拠法	信用金庫法
設立目的	国民大衆のために金融の円滑を図り、その貯蓄の増強に資する
組織	会員の出資による協同組織の非営利法人
会員資格	・地区内に住所又は居所を置く従業員300人以下または資本金9億円以下の中小事業者または個人 ・地区内で働く個人等
業務範囲	預金は制限なし、融資は原則として会員を対象とするが、制限つきで会員外貸出もできる(卒業生金融)

1. 信用金庫について

(2) 信用金庫の現況

全国には254の信用金庫があります。北海道から沖縄まで47都道府県にあり、それぞれの地域で、独自に金融業務を展開しています。



信用金庫数	254金庫
店舗数	7,181店
役職員数	10万3千人
預金残高	155兆円
貸出金残高	78兆円

※2021年3月末時点

2. 手形・小切手の取扱状況

➤ 利用顧客数（2018年12月「手形・小切手機能の電子化に関する検討会報告書」より）

－手形利用顧客数（延べ数） … 14万7千者

－小切手利用顧客数（延べ数） … 38万3千者

※金融機関ごとの調査のため、同じ会社が異なる金融機関を利用しているケースあり。利用顧客数は振出側。

➤ なお、個別金庫では、地域性や金庫の規模により利用顧客数、取扱枚数には大きな違いがあります。

信用金庫の手形・小切手利用枚数及び利用顧客数(年間)

	最小値	中央値	最大値
手形・小切手利用枚数(1金庫当たり)	1,850枚	30,762枚	501,898枚
手形・小切手利用顧客数(1金庫当たり)	58者	1,015者	32,308者

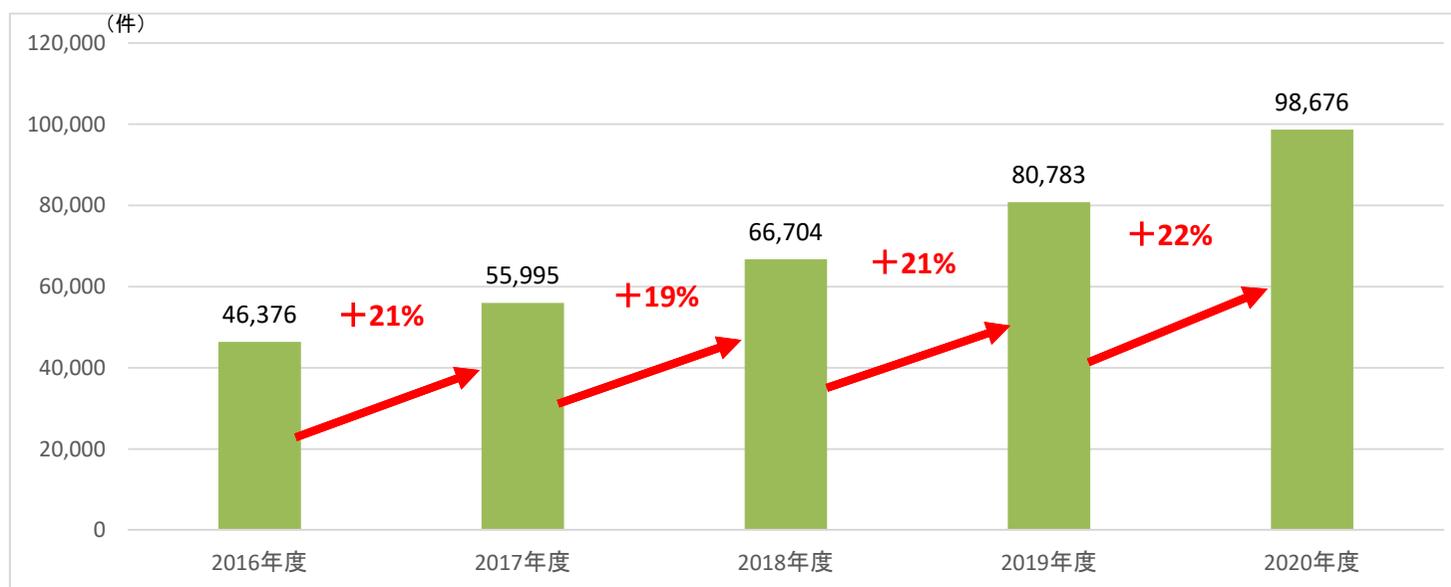
資料:2018年本会調べ

3. でんさいネット／I Bの取扱の状況

(1) でんさいネットへの加盟

➤ 253金庫が加盟

信金業界の発生記録請求件数



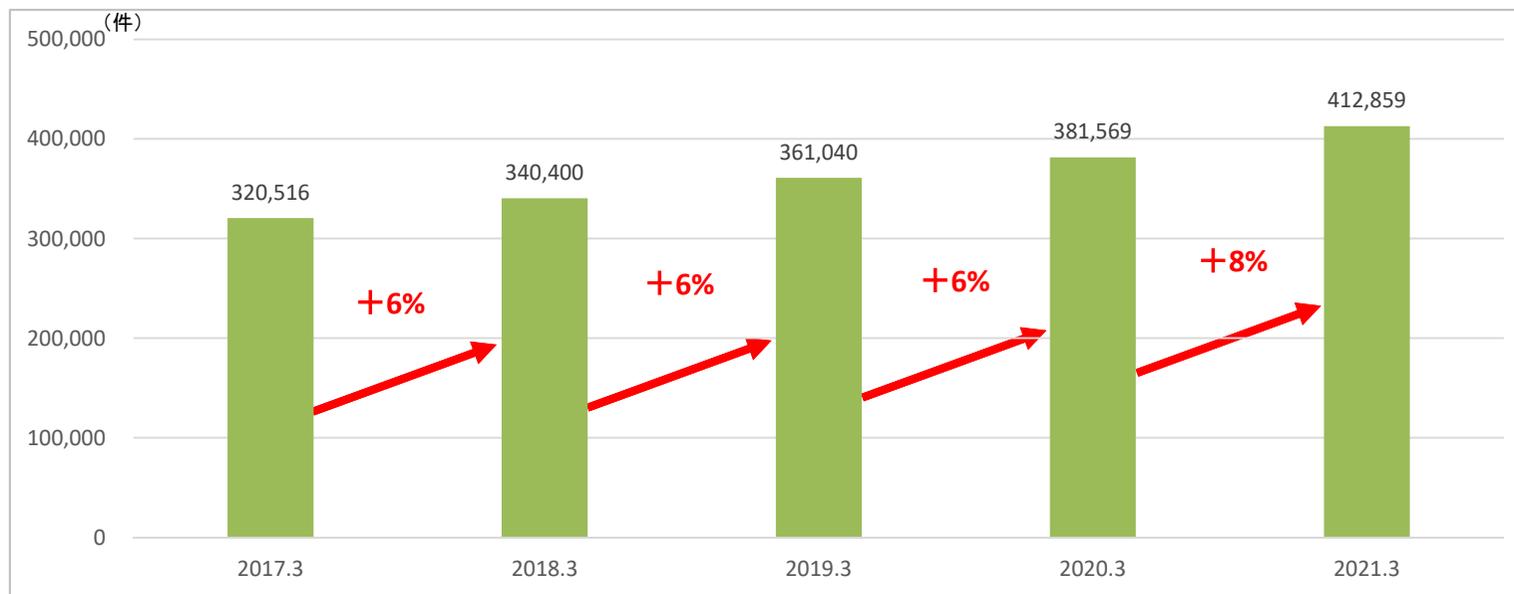
資料:業態内調べ

3. でんさいネット／I Bの取扱い状況

(2) インターネットバンキングサービスの取扱い

➤ 253金庫が提供

信金業界の法人インターネットバンキング利用企業数



注：業態センターが提供しているインターネットバンキング
資料：業態内調べ

4. 信用金庫業界における主な電子化推進事例

(1) 導入支援関連

- 導入時にセットアップ要員を本部より派遣し、操作説明を実施
- ヘルプデスク等の設置
- H P 上にてデモ画面を提供

(2) 利便性関連

- でんさい専用契約（法人インターネットバンキング契約はなくても利用可）
- でんさいP C利用が難しい利用者への書面利用（F A X）サービスの提供

(3) 周知強化関連

- でんさいネットセミナーの取引先への紹介
- 金庫での取引先説明会の実施
- 手形・小切手帳発行時の「でんさい」「I B」利用のメリットの訴求

4. 信用金庫業界における主な電子化推進事例

(4) 経済的効果関連

- でんさい発生記録手数料一部キャッシュバックキャンペーンへの参加
- 「でんさい」の月額利用料・入金手数料の一定期間無料など
- 法人インターネットバンキングの月額利用料を一定期間無料など

(5) 人材教育関連

- 営業店向けにでんさいの仕組みに関する勉強会の実施
- 本会とでんさいネット共催のウェブ説明会の実施

(6) その他

- 電子記録債権を利用したファクタリングサービスの提供会社との提携